

- 中国・清華大学と独立行政法人情報通信研究機構が情報通信分野における包括的な研究協力に関する覚書に調印
 - 平成16年11月8日
-

平成16年11月6日(土)、独立行政法人情報通信研究機構の理事長 長尾 真が、中国・清華大学(学長:顧秉林(Gu Binglin))を訪問し、情報通信分野における両機関の包括的な研究協力に関する覚書に調印しました。

<研究協力の概要>

研究者交流、情報交換、フェローシッププログラムの実施、シンポジウムの開催、共同研究の実施等を通じた相互協力と親善関係の構築によって、情報通信分野の研究協力を確立し、実行することに合意しました。

<共同研究課題>

この覚書のもとで、当面推進する予定の共同研究の課題は、以下の通りです。なお、具体的な研究内容については、今後両機関で協議します。

1. 地上系無線通信
2. 衛星通信
3. 成層圏プラットフォームシステム
4. 次世代インターネット
5. ナノテクノロジー
6. 自然言語処理
7. マルチメディア・コンピューティングとデータベース

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
大崎祐次、大野由樹子
Tel: 042-327-6923
Fax: 042-327-7587

<覚書調印に関する問い合わせ先>

総合企画部 国際連携室
五十嵐喜良
Tel: 042-327-7478
Fax: 042-327-5321

11月6日の調印式の模様



清华大学副学長 康克军 (KANG Kejun) (左)、情報通信研究機構理事長 長尾真 (右)

清华大学(Tsinghua University)の概要

前身を清華学堂といい創立は1911年、1928年に国立清華大学と改められた。現在すでに工科を中核として理・工科が結合し、また経済管理と人文社会科学学科をも兼有する国家重点大学に発展し、中国において優秀な人材の育成と科学研究に貢献する重要な基地となっている。現在建築学院、理学院、情報科学技術学院、機械工程学院、経済管理学院、人文社会科学院、法学院と美術学院及びその他41の学部があり、校内には46の研究院(所)と23の研究センター、4つの国家クラス研究センター、15の国家実験室、23のオーバードクター科学研究移動ステーション及び大学院とアダルト・エジュケーション・カレッジがある。清華大学には、大学生、大学院生、博士課程研究生など、2万人以上の学生が学んでいる。教師陣としては、中国科学院、中国工学院のアカデミー会員、内外で著名な学者等である。「謹嚴実直、勤勉、創意工夫」が校風。